

立命館経済學

第 42 卷 第 4 号

1993年10月

内 容

論 說

- 儒教倫理と資本主義の精神……………小 野 進 1
オートメーションと労働価値論……………高 木 彰 103

研 究

- 利潤率低下法則と産業循環……………増 田 和 夫 146
——高木—逢坂論争によせて——
貨幣の資本への転化について……………山 田 祥 夫 172
——「経済学批判要綱」と「資本論」——

立 命 館 大 学 経 済 学 会

立命館経済学 第42巻・第2号

論 説

- 「組織的知識創造」型企業組織モデル
(野中モデル)の検討……………坂 本 和 一
——企業組織の「自己革新モデル」と「内外均衡同時実現モデル」を求めて——
- 90年代の日本経済と東アジア経済圏……………西 口 清 勝
- E. C. 統合の経済的効果……………稲 田 義 久
——世界モデルによる数量分析——

研 究

- 移転価格税制の変遷と合衆国経済……………飯 野 公 央
- 中国における対外経済戦略の転換……………王 耀 東

発行所 立命館大学経済学会

立命館経済学 第42巻・第3号

論 説

- クリントンの銀行政策……………福 光 寛
——地域社会開発銀行構想の展開——
- 海外直接投資行動を含む日本経済マクロモデルの
シミュレーション分析……………稲 葉 和 夫
森 川 浩 一

研 究

- 韓国の経済発展における外国資本……………裴 光 雄
——1960・70年代を中心に——
- 資本蓄積と「地域的分業」……………泉 俊 弘

共同研究室

発行所 立命館大学経済学会